

科目名 「 解剖学 」

学年	学期	科目責任者
1	前学期	近藤 信太郎

単位数	1
学習目標 (G I O)	人体の構造を学ぶ事は医学を学ぶものにとって最初に出会う基礎中の基礎です。全身の構造を理解することにより個体における口腔の構造と機能、他科目との関連などの理解を深める事ができます。 また後期に始まる口腔領域の構造を学ぶための人体構造を学ぶための方法やルールを習得します。
担当教員	松野 昌展
教科書	最新歯科衛生士教本 「人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学」 全国歯科衛生士教育協議会監修 (医歯薬出版) イラストでわかる歯科医学の基礎 瀧端、祖父江、西村、村上監修 (永末書店)
参考図書	
評価方法 (E V)	平常試験の成績を基に評価します。
学生へのメッセージ オフィスアワー	純粋に形態だけでなく組織学や生理学、生化学との関連にも触れます。いろいろな科目が関連していることを体感して下さい。 後の時間帯の「歯の解剖学」と時間を共有しますので、切り替えのタイミングが若干変動します。 質問は随時受け付けます。

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/6	解剖学総論	<p>【授業の一般目標】 人体の構造を学ぶための基礎的な内容やきまりを習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 個体～原子にいたる人体を構成する構造の階層性を説明できる。 人体を構成する器官系の種類を説明できる。 人体の部位の名称と方向用語を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 なし</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 あり 自他の体に触れ、各部位と名称を一致させる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 405教室 講義 必要に応じてマルチメディアを使用し、プリントを配布する。</p>	松野昌展
第2回 4/13	骨格系1	<p>【授業の一般目標】 人体の構造を学ぶ基礎として、骨格系の構造に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 全身の区分を説明できる。 全身の骨の名称を説明できる。 骨同士の連結を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 なし</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 あり 自他の体に触れ、硬い骨が存在する部位と名称を確認する。</p> <p>【学習方略 (LS)】 405教室 講義 必要に応じてマルチメディアを使用し、プリントを配布する。</p>	松野昌展

<p>第3回 4/27</p>	<p>骨格系2</p>	<p>【授業の一般目標】 人体の構造を学ぶ基礎として、骨格系の構造に関する知識を習得する。 【行動目標 (SB0s)】 全身の骨の名称を説明できる。 【準備学習項目】 なし 【アクティブラーニングの有無】 あり 自他の体に触れ、硬い骨が存在する部位と名称を確認する。 【学習方略 (LS)】 405教室 実習 全身の骨の観察を行う。</p>	<p>松野昌展</p>
<p>第4回 5/11</p>	<p>筋系1</p>	<p>【授業の一般目標】 骨格系の知識を基に、筋系の構造に関する知識を習得する。 【行動目標 (SB0s)】 筋の一般構造と作用を説明できる。 体表から触れることができる体幹の筋の名称と機能を説明できる。 呼吸に関わる筋の名称と機能を説明できる。 【準備学習項目】 全身の骨の名称を再確認する。60分 【アクティブラーニングの有無】 あり 自他の体に触れ、筋と関節の動きを確認する。 【学習方略 (LS)】 405教室 講義 必要に応じてマルチメディアを使用し、プリントを配布する。</p>	<p>松野昌展</p>
<p>第5回 5/18</p>	<p>筋系2</p>	<p>【授業の一般目標】 骨格系の知識を基に、筋系の構造に関する知識を習得する。 【行動目標 (SB0s)】 体表から触れることができる体肢の筋の名称と機能を説明できる。 【準備学習項目】 全身の骨の名称を再確認する。60分 【アクティブラーニングの有無】 あり 自他の体に触れ、筋と関節の動きを確認する。 【学習方略 (LS)】 405教室 講義 必要に応じてマルチメディアを使用し、プリントを配布する。</p>	<p>松野昌展</p>
<p>第6回 5/25</p>	<p>消化器系1</p>	<p>【授業の一般目標】 身体に必要な栄養やエネルギーを取り込む消化器系の構造に関する知識を習得する。 【行動目標 (SB0s)】 上皮と外分泌腺の構造を説明できる。 粘膜の構造を説明できる。 消化管の流れを説明できる。 【準備学習項目】 口腔から肛門までの消化管の名称を列記する。30分 【アクティブラーニングの有無】 なし 【学習方略 (LS)】 405教室 講義 必要に応じてマルチメディアを使用し、プリントを配布する。</p>	<p>松野昌展</p>
<p>第7回 6/1</p>	<p>消化器系2</p>	<p>【授業の一般目標】 身体に必要な栄養やエネルギーを取り込む消化器系の構造に関する知識を習得する。 【行動目標 (SB0s)】 肝臓の構造を説明できる。 膵臓の構造を説明できる。 【準備学習項目】 三大栄養素の概略を理解する。30分 【アクティブラーニングの有無】 なし 【学習方略 (LS)】 405教室 講義 必要に応じてマルチメディアを使用し、プリントを配布する。</p>	<p>松野昌展</p>

<p>第8回 6/8</p>	<p>呼吸器系</p>	<p>【授業の一般目標】 酸素の取り込みや二酸化炭素の排泄に関わる呼吸器系の構造に関する知識を習得する。 【行動目標 (SB0s)】 気道の構造を説明できる。 肺と胸膜の構造を説明できる。 【準備学習項目】 自分の体で喉仏とその下に続く器官に触れてみる。10分 【アクティブラーニングの有無】 なし 【学習方略 (LS)】 405教室 講義 必要に応じてマルチメディアを使用し、プリントを配布する。</p>	<p>松野昌展</p>
<p>第9回 6/15</p>	<p>泌尿器系 生殖器系</p>	<p>【授業の一般目標】 体内物質を尿として排泄する泌尿器系と新たな個体を創り出す生殖器系の構造に関する知識を習得する。 【行動目標 (SB0s)】 腎臓の構造を説明できる。 排尿の流れを説明できる。 男性生殖器の構造を説明できる。 女性生殖器の構造を説明できる。 【準備学習項目】 便と尿、身体の内部と外部の違いについて考えてみる。30分 【アクティブラーニングの有無】 なし 【学習方略 (LS)】 405教室 講義 必要に応じてマルチメディアを使用し、プリントを配布する。</p>	<p>松野昌展</p>
<p>第10回 6/22</p>	<p>循環器系1</p>	<p>【授業の一般目標】 全身に物質や温度を運ぶ循環器系の構造に関する知識を習得する。 【行動目標 (SB0s)】 循環器系の概要を説明できる。 心臓の構造を説明できる。 【準備学習項目】 自分の体に触れ、心臓の拍動に触れる。10分 【アクティブラーニングの有無】 なし 【学習方略 (LS)】 405教室 講義 必要に応じてマルチメディアを使用し、プリントを配布する。</p>	<p>松野昌展</p>
<p>第11回 6/29</p>	<p>循環器系2</p>	<p>【授業の一般目標】 全身に物質や温度を運ぶ循環器系の構造に関する知識を習得する。 【行動目標 (SB0s)】 動脈の分布を説明できる。 門脈を説明できる。 リンパの分布を説明できる。 【準備学習項目】 自分の体に触れ、脈拍が触れる部位を探す。10分 【アクティブラーニングの有無】 なし 【学習方略 (LS)】 405教室 講義 必要に応じてマルチメディアを使用し、プリントを配布する。</p>	<p>松野昌展</p>

<p>第12回 7/6</p>	<p>神経系1</p>	<p>【授業の一般目標】          身体の内外からの情報を基に身体の調節を行っている神経系の構造と機能に関する知識を習得する。          【行動目標 (SB0s)】          神経系の概要を説明できる。          脊髄の構造を説明できる。          脊髄神経の分布を説明できる。          自律神経の分布を説明できる。          【準備学習項目】          脳と脊髄の区分を理解する。30分          【アクティブラーニングの有無】          なし          【学習方略 (LS)】          405教室 講義 必要に応じてマルチメディアを使用し、プリントを配布する。</p>	<p>松野昌展</p>
<p>第13回 7/13</p>	<p>神経系2 感覚器系</p>	<p>【授業の一般目標】          身体の内外からの情報を受容する感覚器と、情報を基に身体の調節を行っている神経系の構造と機能に関する知識を習得する。          【行動目標 (SB0s)】          脳の構造を説明できる。          脳神経の分布を説明できる。          自律神経の分布を説明できる。          【準備学習項目】          中枢と末梢の関係を理解する。30分          【アクティブラーニングの有無】          なし          【学習方略 (LS)】          405教室 講義 必要に応じてマルチメディアを使用し、プリントを配布する。</p>	<p>松野昌展</p>
<p>第14回 7/20</p>	<p>神経系3 内分泌系</p>	<p>【授業の一般目標】          身体の内外からの情報を基に身体の調節を行っている神経系と内分泌系の構造と機能に関する知識を習得する。          【行動目標 (SB0s)】          脳神経の分布を説明できる。          内分泌器官の位置を説明できる。          【準備学習項目】          中枢と末梢の関係を理解する。30分          【アクティブラーニングの有無】          なし          【学習方略 (LS)】          406教室 講義 必要に応じてマルチメディアを使用し、プリントを配布する。</p>	<p>松野昌展</p>
<p>第15回 7/27</p>	<p>平常試験 および 解説講義</p>	<p>【授業の一般目標】          全身の解剖学の知識の確認を行う。          【行動目標 (SB0s)】          各器官系の構造を説明できる。          【準備学習項目・時間】          各器官系の構造の再確認を行う。5時間          【アクティブラーニングの有無】          なし          【学習方略 (LS)】          試験および解説</p>	<p>松野昌展</p>